

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成24年10月18日 (2012.10.18)

【公開番号】特開2011-131873(P2011-131873A)

【公開日】平成23年7月7日 (2011.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-027

【出願番号】特願2010-101597(P2010-101597)

【国際特許分類】

B 6 0 R 22/48 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 22/48 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月29日 (2012.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バッテリーとバックルスイッチと接続されて用いられるモータ駆動装置において、
マイクロコンピュータと、前記バックルスイッチのスイッチの切り替えによって論理が切り替わる入力信号に基づいてスリープ状態の前記マイクロコンピュータをウェイクアップするウェイクアップ回路と、を有する制御装置と、
前記マイクロコンピュータがスリープ状態であっても、バックアップメモリによってオン・オフを維持できるトランジスタと、
前記トランジスタと直列に接続された第 1 の抵抗と、
前記第 1 の抵抗と並列に接続された第 2 の抵抗と、を有するモータ駆動装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載のモータ駆動装置において、
前記入力信号は、前記マイクロコンピュータがスリープ状態のとき、前記バックルスイッチがオンからオフに切り替わった場合、論理が Low から High に切り替わり、
前記ウェイクアップ回路は、前記入力信号の切り替わりを検知して前記マイクロコンピュータをウェイクアップさせるモータ駆動装置。

【請求項 3】

請求項 1 記載のモータ駆動装置において、
前記バックルスイッチがオフの状態、前記マイクロコンピュータがスリープ状態になるとき、前記マイクロコンピュータは、前記トランジスタをオンにするモータ駆動装置。

【請求項 4】

請求項 1 記載のモータ駆動装置において、
前記入力信号は、前記マイクロコンピュータがスリープ状態のとき、前記バックルスイッチがオフからオンに切り替わった場合、論理が High から Low に切り替わり、
前記ウェイクアップ回路は、前記入力信号の切り替わりを検知して前記マイクロコンピュータをウェイクアップさせるモータ駆動装置。

【請求項 5】

バッテリーとバックルスイッチと接続されて用いられるモータ駆動装置において、
マイクロコンピュータと、
前記バックルスイッチのスイッチの切り替えによって論理が切り替わる入力信号に基づ

いてスリープ状態の前記マイクロコンピュータをウェイクアップするウェイクアップ回路と、

前記マイクロコンピュータがスリープ状態であっても、バックアップメモリによってオン・オフを維持できるトランジスタと、

前記トランジスタと直列に接続された第 1 の抵抗と、

前記第 1 の抵抗と並列に接続された第 2 の抵抗と、を有する制御装置を有するモータ駆動装置。

【請求項 6】

バッテリーと接続される第 1 の接続端子と、

バックルスイッチと接続される第 2 の接続端子と、

マイクロコンピュータを有する制御装置と、を有し、

前記制御装置は、

前記第 2 の接続端子から入力された前記バックルスイッチのスイッチの切り替え信号に基づいて論理が切り替わる入力信号に基づいてスリープ状態の前記マイクロコンピュータをウェイクアップするウェイクアップ回路と、

前記第 1 の接続端子からのバッテリー電圧が印加され、前記マイクロコンピュータがスリープ状態であっても、バックアップメモリによってオン・オフを維持できるトランジスタと、

前記トランジスタと直列に接続された第 1 の抵抗と、

前記第 1 の抵抗と並列に接続された第 2 の抵抗と、を有し、

前記制御装置は、前記入力信号が入力される入力端子から前記ウェイクアップ回路間に、レベルシフト用のトランジスタとバッファを有し、

前記制御装置の前記入力端子と前記第 2 に接続端子間に、電流増幅用の第 2 のトランジスタと、前記第 2 のトランジスタと直列に接続された前記第 2 のトランジスタの負荷抵抗である第 3 の抵抗と、前記第 3 の抵抗と並列に接続された第 4 の抵抗と、を有するモータ駆動装置。